

研究課題名	入院高齢患者における嚥下内視鏡検査スコアで評価した嚥下障害と栄養リスクの関連と転帰についての後方調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 教授 竹野 幸夫
研究期間	2022年 6月6日(倫理委員会承認後)～ 2024年 12月31日
対象者	2020年4月から2022年3月までに当院耳鼻咽喉科で嚥下内視鏡検査を施行した65歳以上の患者さんです。ただし嚥下障害を引き起こす可能性のある疾患(脳卒中・脳腫瘍・神経変性疾患・筋疾患・認知症・頭頸部外科疾患)や症状(声帯麻痺、気管切開)を有する患者さんは除外しました。
意義・目的	<p>当院では経口摂取開始の可否について嚥下内視鏡検査に委ねられている事が多いです。嚥下障害を引き起こす要因としては、脳卒中や神経変性疾患、頭頸部外科疾患が挙げられていますが、近年低栄養により嚥下障害を引き起こすことも明らかとなっています。</p> <p>先行研究の多くがスクリーニング検査で嚥下障害を抽出しているものが多く、嚥下内視鏡検査など詳細な検査で嚥下機能を評価したものは少ないです。そこで当院入院高齢患者における嚥下内視鏡検査スコアで評価した嚥下障害と低栄養リスク評価であるGNRIとの関連を明らかにし、加えて嚥下内視鏡検査サブカテゴリーと栄養スクリーニングで評価した低栄養の有無の関連を調査します。また低栄養リスクや嚥下障害の有無と在院日数や転帰についても考察し、栄養スクリーニングの有用性を示します。</p>
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査(ALB)、嚥下内視鏡検査スコア、在院日数、FOIS、転帰先です。</p> <p>(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 教授 竹野 幸夫
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5566 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 言語聴覚士 吉川 浩平

研究機関：広島大学